

日刊スポーツ新聞社 2020年4月16日  
 東京都中央区築地3の5の10 (令和2年) 4月16日  
 〒104-8055 電話(03)5550-8888  
 ©日刊スポーツ新聞社 2020 7版 木曜日(友引)  
 (日刊)第26533号 昭和21年4月15日第3種郵便物認可

## 潰れた耳 レスラーの勲章 身体変工 美の追求

私の左耳はタコ、いわゆるカリフラワーだ。レスリング、柔道、相撲、ラグビー等の選手たちにこのカリフラワーが多い。レスラーとして練習漬けの日々、耳が内出血で膨らんだ。自分で鏡を見ながら注射器で血を抜く。経験したことのない痛さを知った。  
 やがてタコのように耳が硬くなって変形。若い

頃は勲章だと思っていたが、長髪にして隠すようになった。で、その長髪を束ねて「チョンマゲ先生」と変化した。近年、女子レスラーたちも耳ダコを持つ。  
 米国の高校・大学でのレスリング競技は、ヘッドギアの着用を義務づけられていた。留学中、慣れないヘッドギアに困らされたが、米国人は入れ

墨にうるさくないのに耳ダコを極度に嫌った。学問的には同じ身体変工なのに、と思ったが、出兵した際、入れ墨は死体確認のおり大切だという。  
 人間だけが、生まれた時の身体を好まず、何か手を加えて特徴を出そうとする動物だ。古代エジプトのBC14世紀前半、ティイやネフェルティティ王妃の頭部の異常で人工的な形態に目を奪われる。大胆にも頭蓋骨を型にはめ、頭の形を美しく細長くしたという。



日本体育大理事長 松浪健四郎

題字は直筆

赤ん坊の頭蓋骨を締めつけ、型にはめ続けたのは、古代エジプト人のみならず、米のインディアン、アフリカ先住民、南フランスのある地方では19世紀までこの習慣が守られていた。美的さを求める執念には頭が下がる。  
 女子レスラーの耳ダコぐらいで驚いてはいけない。中国女性の纏足(てんそく)、チャドの女性の唇、イースター島の女性の入れ墨、コイコイ人の肥満女性等の身体変工

が有名だ。ミャンマーのカレン族女性の首長族も忘れられない。化粧だけではなく、女性美の特徴は多岐にわたる。スポーツ人類学を専攻して、このような研究ができたのは面白かった。

女性の美容整形手術、今や常識となっているが、「美」を求めるのは女性の本能である。目くじらたてて怒ることなかれ。

16年の柔道グランドスラム東京大会、男子60kg級の高藤直寿



◆松浪健四郎(まつなみ けんしろう) 1946年(昭21)10月14日、大阪府泉佐野市生まれ。日本大時代にレスリングで学生王者に。68年、米東ミシガン大に編入学し、69年に全米レスリング選手権優勝。79年から専大講師となり、88年に教授就任。96年の衆院選大阪19区に新進党から出馬して初当選。外務政務官、文部科学副大臣などを歴任。アフガニスタンの国立カブール大講師なども務め、中東外交に強いパイプを持つ。2011年から日体大理事長。

# 菅野の

日本体育大理事長 松浪健四郎



超字は直筆

安倍晋三首相と国際オリンピック委員会(IOC)のトーマス・バッチハ会長が、電話会談によって東京五輪の延期で合意したとの報道に接して頭がクラクラした。たった2人の合意で、簡単に五輪を動かせるとは知らなかった。

森喜朗組  
織委員会

## 世界選手権を東京五輪の代替に

長や橋本聖子五輪担当相、小池百合子都知事たちは、どんな意見を持っていたのか知りたかった。JOCの山下泰裕会長は、どう考えていたのか、どこも報道してくれなかった。それだけ新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に全員で腰を



2019年の世界陸上第9日。男子400mリレー決勝、37秒43のアジア新記録で銅メダルを獲得した日本チーム。左から1走の多田修平、2走の白石真良々、3走の桐生祥秀、4走のサニブラウン・ハキーム

抜かしていたのである。

想定外の事象に、五輪関係者は全員とも頭の中を真っ白にしたに違いない。スポーツマネジメント、いやリスクマネジメントの研究者の登場もなく、延期が決定。1年後には新型コロナウイルスを完全に退治できると、それが保証したのだろうか。WHOは、ワクチン開発に1年か1年半かかるだろうが、これとて希望と期待でしかない。

このウイルスは、人類にとつて測定できる放射能以上の敵である。感染拡大を防止するため、人々は集まるなどのお達し、練習も満足にできない。日本大のトレセン、小体育館の使用禁止でも理解できるが、公立の施設は使えないのは当然であろう。

感染があまり拡大していかないアフリカなどでも、1年後はどうなっているか予測できない。すでに、世界中の選手たちが、公平な状況下でトレーニングや練習には打ち込めない。

そこで、新型コロナウイルス

イルス感染が終息した来年以降の各競技の世界選手権大会を東京五輪の代替大会にすればいい。大会の冠に東京五輪を付けたいと思う。東京開催にこだわっていると「中止」という文字に落胆させられる可能性があるのであるだろう。何も汗だくの最悪の夏に拘泥する必要はないではないか。

そして、金のかかる五輪について、IOCをはじめ関係者は再考すべきである。東京五輪の灯を消さないためには、世界選手権の活用しかあるまい。

◆松浪健四郎(まつなみ・けんしろう)1946年(昭21)10月14日、大阪府泉佐野市生まれ。日体大時代にレスリングで学生王者に。68年、米東ミシガン大に編入学し、69年に全米レスリング選手権優勝。79年から専大講師となり、88年に教授就任。96年の衆院選大阪19区に新進党から出馬して初当選。外務政務官、文部科学副大臣などを歴任。アフガニスタンの国立カブール大講師なども務め、中東外交に強いパイプを持つ。2011年から日体大理事長。

# 音多し

日本体育大理事長 松浪健四郎

題字は直筆

電車の中で新聞を読んでいる人は希少だ。おしなべてスマホの奴隷、はがきも手紙もなし、すべてメールでことたりる。スマホでゲームを朝から楽しむ若者も多い。ビデオゲームを使った対戦を競技とする団体も設立された。エレクトロニック・スポーツ、eスポーツだ。このコンテンツを既成のスポーツと同列に並べるのに抵抗があるが、どんどん食い込んでくる。市場規模の桁が違ろからで、経済産業省までもが色目を使う。

最近、毎日新聞は、やたらとeスポーツに熱心である。高校生の全国大会を主催したりして、購読者の増加を狙っているようだ。eスポーツは、2022年のアジア大会の正式種目として採用が決定しているばかりか、24年のパリ五輪の新種目候補でもあるのだ。19年の茨城国体の文化プログラムに選ばれ、「競技スポーツ」としての確たる

地歩を固めつつある。

世界中の市場規模は2000億円前後、日本の市場は試算で約90億円に達するという。米国では約500億円という、市場はさらに拡大傾向にあるらしい。大型商業施設の広場を用いて、大画面でeスポーツ大会を企画

## どう捉える？eスポーツ

すれば、多くの観客が集まる。賞金大会にすれば、プロも誕生するだろうし、数多くの可能性はらむ。

ましてや、オリンピック種目になれば、私たち体育系の大学もeスポーツに取り組みねばならなくなる。「スポーツ振興法」は、する、見る、支えると言き、eスポーツをスポーツでないと主張できない状況下にある。昔からパン・アメリカ

ン大会には、チェスが正式種目に入っている。マージャンも将棋も囲碁もeスポーツ並みの扱いが求められるかもしれない。一般社団法人日本eスポーツ連合の動きが注目される。

対戦形態によるゲーム依存症や長時間による対戦での健康被害が予想されるだけに、本場に「競技スポーツ」と認定していいのだろうか。スポーツの百花繚乱(りょうらん)、eスポーツを毎日以外の新聞やメディアは、どう捉えているのか。



eBASEBALL。e日本シリーズ・巨人対ロッテ 巨人が初戦を3-1で制した=2020年1月25日

◆松浪健四郎(まつなみ けんしろう) 1946年(昭21)10月14日、大阪府泉佐野市生まれ。日体大時代にレスリングで学生王者に。68年、米東ミシガン大に編入し、69年に全米レスリング選手権優勝。79年から専大講師となり、88年に教授就任。96年の衆院選大阪19区に新進党から出馬して初当選。外務政務官、文部科学副大臣などを歴任。アフガニスタンの国立カブール大講師なども務め、中東外交に強いパイプを持つ。2011年から日体大理事長。

## 「集団」は人間の通性 心の拠り所失うと…

理事長という仕事は、けっこう孤独である。諸問題は、常務理事をはじめ高位の教職員が解決してくれるため、バカ殿様でも大丈夫な感じ。それで寂しくなり、孤独感を味わう。で、新型コロナウイルスに感染しにくい。政府も都知事も「密閉」「密集」「密接」の3つの「密」を避けるようにと呼び掛ける。感染防止

のためには、人と接触するなどという忠告であろうか。「孤独のすすめ」だ。ヒトは猿と同様、群れる動物で、「集団」を作る通性をもつ。孤独を好まないのだ。ポツンと1人で暮らしていると、変人扱いを受ける。いや、だんだんと変人になっていく。新型コロナウイルスの発生で、「集団」は3つ

の「密」を生むため、当分は「孤独のすすめ」。私たち人間は、組織という「集団」に心のよりどころを求め、社会生活を営むが、その「集団」からの離脱を求められている。

ありとあらゆるスポーツもダメ、観客で潤うプロスポーツは、特にダメだ。まさか、こんな非常の日々が新型コロナウイルスによって支配されるとは想像もしなかった。パチンコ、マージャンもアウト、コーヒーを飲みつつ、



日本体育大理事長 松浪健四郎

題字は直筆

馬券の予想をするしかない。

人間は、「集団」の効果を最もよく活用して繁栄と文化の向上を勝ち得た。大脳皮質の発達により、生物の生態系から脱出し、逆に生態系を破壊してきた。他の動物が生態系内の「集団」でとどまっているのに対し、人間は文化的集団を創造してきた。その罰が、新型コロナウイルスの襲撃なのだろうか。

あらゆる感染症と対峙(たいじ)し、勝利して

きた人類とはいえ、今回のウイルスは手ごわい。まったく終息の気配もないのに、東京オリパラの日程だけが決定した。苦惱に満ちた森喜朗組織委員会会長の気の毒な顔をテレビで見るたび、ヘンな「集団」の1人芝居を想起する。

生物界では、心のよりどころを失った「集団」は、「相変異」という現象を生む。バッタが異常発生すると、個々のバッタが興奮状態を示すようにだ。



満員の観客が興奮ノ 19年10月の新日本プロレス1 WGPヘビー級王座を防衛したオカダ・カズチカがベルトを巻きポーズを決める

◆松浪健四郎(まつなみ・けんしろう)1946年(昭21)10月14日、大阪府泉佐野市生まれ。日体大時代にレスリングで学生王者に。68年、米東ミシガン大に編入学し、69年に全米レスリング選手権優勝。79年から専大講師となり、88年に教授就任。96年の衆院選大阪19区に新進党から出馬して初当選。外務政務官、文部科学副大臣などを歴任。アフガニスタンの国立カブール大講師なども務め、中東外交に強いパイプを持つ。2011年から日体大理事長。



## 音多之

日本体育大理事長  
松浪健四郎



選手は直筆

高校生だった長州力に稽古をつけたことがある。将来、強くなるという好素質をもつレスラーだった。専大進学後、長州力は予想どおりずぬけたチャンピオンの座についた。

数年後、私はアフガニスタンの国立カブール大での3年の任期を終えて帰国、専大に教員として招かれた。レスリング部のコーチをまかされ、鈴木啓三監督を補佐。毎年、優秀な選手を全国からスカウトしたが、その中に馳浩がいた。一風変わった高校生であった。

「早大に行って高校の国語教師になります」という。そこで私は、「国語教師も保証するし、五輪出場も実現させる」と、口説いた。努力家の彼は、ぐんぐん強くなった。馳浩ほど「文武両道」の実践者を私は知らない。果たして、五輪出場、高校教師の夢を実現させたが、学生時代から長州力先輩と接して憧れるようになる。

### 馳浩「文武両道

私は馳浩を連れて、長州力に弟子入りを申し入れた。「ラクな仕事でないの、後輩に苦労をさせたくない」と、長州に断られた。しかし、馳浩の執念は長州の独立(ジャパンプロレス)によって実る。2人とも元五輪レスラー、そのファイト



1990年11月、新日本国大会 I W G P タッグ選手権 蝶野正洋対馳浩 蝶野正洋(下)にサンリ固めを決める馳浩

は魅力的であった。少しずつ人気者になっていた馳浩のもとに、自民党幹事長であった森喜朗代議士から「参議院選挙出馬要請」。すぐにわが家に飛んできた馳浩に「われ、嫁の高見恭子にも応援させる」とアドバイス。なぜか、ジャイアント馬場が、馳浩をわが子のように応援してくる。

私は教育者の端くれとして、馳浩の能力と人間

性を評価していた。度量の大きさも並はずれ、知的好奇心も深く、私は馳浩に文学者、国文学教授を期待した。人生とはおもしろい。まったく異なったジャンルで大成した馳浩、文部科学大臣に就任した際、私はうれし涙を流し、教育者冥利(みよりり)を味わわせてもらった。

国技館での猪木戦を観戦したタレントの高見恭子は私に「馳浩を紹介してほしい」と、紹介した。すると大や猫よりも早く結婚した。

◆松浪健四郎(まつなみ・けんしろう)1946年(昭21)10月14日、大阪府泉佐野市生まれ。日体大時代にレスリングで学生王者に。68年、米東ミシガン大に編入学し、69年に全米レスリング選手権優勝。79年から専大講師となり、88年に教授就任。96年の衆院選大阪19区に新進党から出馬して初当選。外務政務官、文部科学副大臣などを歴任。アフガニスタンの国立カブール大講師なども務め、中東外交に強いパイプを持つ。2011年から日体大理事長。

## 正當なる心

日本体育大理事長 松浪健四郎



題字は直筆

悔しいけれど、やっぱり野球がおもしろい。私などは首都大学リーグ戦から高校野球まで、時間があれば応援に行く。なぜ、日本人は野球好きなのか、あまり知られていないようだ。

ヒトには投石本能がある。ヒトだけが石を投げる動物。それで狩猟ができたのである。石やブーメランを投げ、槍(やり)を投げる。頭のいいヒトがいた、弓矢を開発したのだ。

「より速く、より正確に、より遠くへ」物を投げる技術こそがヒトを豊かにした。ヒトはホモサピエンス(知性人)であり、ホモフンディートル(投石人)と言われる。銃を造るまで、私たちの祖先は弓矢の技術力で獲物を得ていた。肉を食い毛皮や骨を用いて日用品や衣服を作った。

弓の名人、エースこそが集団の英雄だった。しかし、獲物を発見する者、追い込む者がいないとエースも活躍できない。ヒ

トの集団は、古来よりチームを組み、適材適所の人事で対応しなければならぬ宿命にあったと想像する。

つまり、狩猟集団こそ、現在の野球チームそのものではないか。やがて狩猟せずに家畜を飼うようになると、狩

### 野球と狩猟の類似性



17年11月15日、明治神宮大会 大学の部・決勝 星槎道都大対日体大 優勝し応援団と「エッサッサ」のポーズをする日体大ナイン

猟の代理活動としてスポーツを楽しむようになる。私たちの血には、古人からの狩猟者としての血が流れているため、スポーツに興じる。

とくに野球やチームスポーツに人気があるのは、それは狩猟と類似するからだ。現在でも、すべての面において社会では、「より速く、より正確に、より遠くへ」を競う。航空機、新幹線、車等、投石本能のなせるワ

ザだ。で、野球好きは、投石本能にくわえ戦争要素と適材適所の人事、そして一発逆転の痛快さに酔う。ホームベースが獲物、この獲得合戦が野球である。日本人は、この緊張感を楽しむ。

戦争だから、昔はゲートルを足に巻き、ストッキングに変化した。悲しいかな、ストッキングを見せないプロ野球選手が増えた。戦争しているという意識が希薄なのだ。野球用語の多くは戦争用語であることを知るべし。

◆松浪健四郎(まつなみ・けんしろう) 1946年(昭21)10月14日、大阪府泉佐野市生まれ。日体大時代にレスリングで学生王者に、68年、米東シシガン大に編入し、69年に全米レスリング選手権優勝。79年から専大講師となり、88年に教授就任。96年の衆院選大阪19区に新進党から出馬して初当選。外務政務官、文部科学副大臣などを歴任。アフガニスタンの国立カブール大講師なども務め、中東外交に強いパイプを持つ。2011年から日体大理事長。

## 入魂「チョークすれすれ」

その昔、ベースボールマガジン社が「週刊プロレス」を売りまくっていた頃、私は「チョークすれすれ」というコラムを書いていた。

「週刊ファイト」「週刊ゴング」等にも人気があり、ジャイアント馬場の全日本、アントニオ猪木の新日本が全盛期、プロレス人気のすごさにおののいた。ファンはテレビだけではなく、活字までも興味があり、私は原稿を書きまくる日々だった。

毎週のように、どこかの団体の興行に足を運んだ。私は「スポーツ人類学」という学問を専攻していたので、プロレスほどいいフィールドはなかった。しかも私はアマチュアといえどもレスラー、技術論については記者には負けない。ただ、ライターとして特定のレスラーと仲良くすることはなかった。

プロレスの恐ろしさは、「隠れファン」が全国の各界にいることだ。サザンオールスターズの桑田佳祐さんに「いつも読ん

めますよ」といわれたり、上皇陛下の心臓手術をされた天野篤順天堂大教授に「ファンでした」とささやかれると驚くしかなかった。

政府の国土強靱(きょうじん)化の推進委員会の中心人物で内閣官房参与でられる藤井聡京大教授は、「先生のコラムが毎週楽しみでした」と。「隠れプロレスファン」は、至る所にいた。で、私の著作も売れた。「格闘技バイブル」は続編も出したし、「格闘技の歴史」は私の出世作ともなった。プロレス人気のおかげであったと思う。

「チョークすれすれ」は、バ



日本体育大理事長 松浪健四郎

題字は直筆

ースボールマガジン社ではなく、PHPから出版した。編集者が熱心に通ってきたからである。「週刊プロレス」の山本隆司編集長の許可もあり、刊行することとなった。立派な装丁のお気に入りの冊子だったが、さっぱり売れなかった。

題名は「プロレスの人類学」だった。私はひそかに名著だと思ったが、増刷することなく初版で終わった。ショックを受けた私は、プロレス雑誌への投稿をやめた。が、プロレスの理論武装のために、その文化性のために、ヒロイズム研究のために、少しは役立ったと自負する。



2011年8月、IGF両国大会 タイガー・ジェット・シン(右)と場外乱闘するアントニオ猪木

◆松浪健四郎(まつなみけんしろう) 1946年(昭和21)10月14日、大阪府泉佐野市生まれ。日本大時代にレスリングで学生王者に。68年、米東ミシガン大に編入学し、69年に全米レスリング選手権優勝。79年から専大講師となり、88年に教授就任。96年の衆院選大阪19区に新進党から出馬して初当選。外務政務官、文部科学副大臣などを歴任。アフガニスタンの国立カブール大講師なども務め、中東外交に強いパイプを持つ。2011年から日本体育大理事長。

2020年 5月5日  
(令和2年) 7版 火曜日(伝説)

# 日刊スポーツ

NIKKAN SPORTS

日刊スポーツ新聞社 2020  
東京都中央区築地3の5の10 (日刊)第26552号  
〒104-8055 電話(03)5550-8888 昭和21年4月15日第3種郵便物認可

# 逆タマ

日本体育大理事長 松浪健四郎



題字は直筆

司会する夜のフジテレビの番組に出演して「逆タマ」論を話すとさらに売れた。

評論家で一世を風靡(ふうび)したパイプ姿の竹村健一氏が鬼籍に入られた。長髪で手にパイプ、私たちの目からすればカッコイイ評論家。関西弁のくせにフルブライト留学生というエリート。今から思えば、テレビ向きの評論家だった。一時、小池百合子氏が相手役をつとめる番組もあり、絶大な人気を誇った。

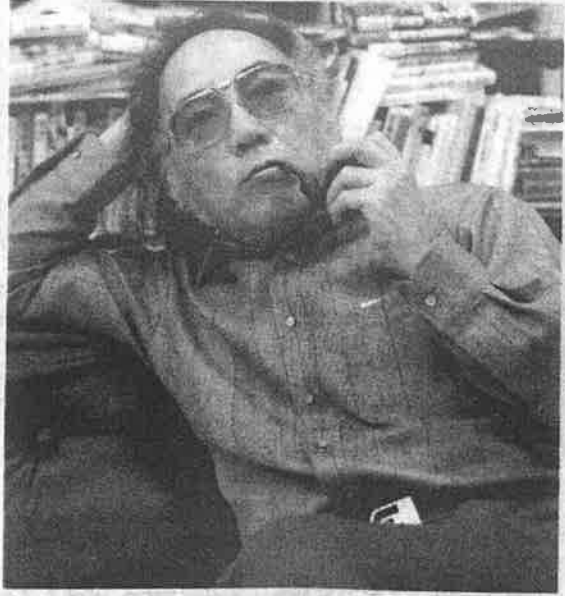
私は、竹村氏が経営する赤坂の店に毎週のごとく呼ばれた。ある意味でのブレイクだったのである。その昔、私は野末陳平先生のヤングブレイクでもあった。竹村氏は、中近東のこと、大学やスポーツのことを私から仕入れ、時に私もテレビに起用された。

一番のヒットは、「逆タマ」である。少子化に突入していて、財産家や実業家は娘を持つが、跡継ぎの息子を持たない。ならば、婿養子がいい。名前なんて何だっていいじゃないか、資産家の

娘と結婚すると、簡単に地位、金を手中にできるではないか。玉のこしの逆だから「逆タマ」、私の造語である。

竹村氏の出版社である太陽企画出版から「ボクは元祖シンテレラボーイ」を刊行。「逆タマ」の指南書だから、よく売れた。竹村氏と蓮舫氏が

## 逆タマ—私の造語



本と書類に囲まれた仕事場でパイプをぶかす竹村健一氏—1993年12月

「粉練(こなねか)三合持ったら婿に行くな」という時代、合理的で近代的な発想が求められていたのだと思う。ちなみに、私は目体大の近くの娘2人の医院の長女と結婚し、同居することになった。それから数年後、「逆タマ」は流行語となり、結婚の様式も多彩と

なりタマ—なし。

竹村氏のパイプは、みごとな小道具であった。禁煙にうるさくなかった当時、葉巻を小道具に使う有名人もいた。ダンヒル製のバラの根から作るパイプ、あまりの高価さに驚いた。竹村氏は、新聞や雑誌を読んでいて、資料になると思われた箇所があれば、その場で破ってポケットに突っ込んだ。

私は、その竹村氏のクセだけを学び、逆転の発想は時代を讀むことだと教えられた。

### ◆松浪健四郎(まつなみ・けんしろう) 1946年(昭21)10月14日、大阪府泉佐野市生まれ。日体大時代にレスリングで学生王者に。68年、米東シシガン大に編入学し、69年に全米レスリング選手権優勝。79年から専大講師となり、88年に教授就任。96年の衆院選大阪19区に新進党から出馬して初当選。外務政務官、文部科学副大臣などを歴任。アフガニスタンの国立カブール大講師なども務め、中東外交に強いパイプを持つ。2011年から日体大理事長。



日刊スポーツ新聞社 2020年 5月7日  
 東京都中央区築地3の5の10 (令和2年)  
 〒104-8055 電話(03)5560-8888  
 昭和21年4月15日 第3種郵便物認可 6版 木曜日(土) 日刊スポーツ新聞社 2020

## 番多之に

日本体育大理事長 松浪健四郎



題字は直筆

悪性リンパ腫というがんを患って、幾度も入院して、抗がん剤と闘っている。食欲不振に陥り、吐き気、下痢、口内炎にも襲われる。闘いだから根性でガマンする。命を懸けた闘いゆえ、負けるわけには、いかない。

でも、長期の入院をしていると、ちょっと外出したくなることもある。たいていは医師から許可が下りるのだが、「今回はダメです」。どうしてその後楽園ホールの新日本プロレスを見に行きたかったのに、チケットはパ

京都の立命館宇治高のレスラーだった中西学選手を専大にスカウトしたのは私である。2月22日、中西が引退するという。他の教え子から連絡があり、連れて行ってもらうプランだったが徒労に帰す。新型コロナウイルスに、教え子の引退試合の記念日をつぶされた。

中西は、高校で全国3位、それほどの有望レスラーではなかった。どの

大学も欲しいほどの存在ではなく、私は専大重量級の稽古台でいいと思っ

### 2月引退中西から学んだ練習はウソをつかない

うちよっと、ましな選手をスカウトしてくれ」と私に苦言を呈した。ケガもよくなり練習を開始した中西、投げられてばかりで「空飛ぶレスラー」とか「タックルマシン」と呼称されるありさま。弱い中西に頭をかかえる日々だった。



新日本プロレス、雪の札幌2連戦、第2試合20分一本勝負。上村優也、本間朋晃、真壁刀義対タイガーマスク、中西学、天山広吉、真壁刀義を担ぐ中西学(2020年2月2日)

な日本チャンピオンだった本田多聞選手をオモチャにするくらいの勝利をあげた。私たちは、目をパチクリ、中西の強さに驚くしかなかった。で、五輪出場を果たす。

和歌山県庁に入ったが、専大の先輩である長州力と馳浩に口説かれてプロ入りする。私は県庁におわび行脚、でも中西の活躍がうれしかった。あの天然ボケは、学生時代からのもの。

中西から学んだことは、「夢をあきらめるな」「練習はウソをつかない」ということだ。

◆松浪健四郎(まつなみ・けんしろう)1946年(昭21)10月14日、大阪府泉佐野市生まれ。日本大時代にレスリングで学生王者に。68年、米東ミシガン大に編入し、69年に全米レスリング選手権優勝。79年から専大講師となり、88年に教授就任。96年の衆院選大阪19区に新進党から出馬して初当選。外務政務官、文部科学副大臣などを歴任。アフガニスタンの国立カブール大講師なども務め、中東外交に強いパイプを持つ。2011年から日体大理事長。